

職員の人事配置

その状況は

委員 職員の人事配置について、最近、著しく多忙と見えるような部署が見受けられる。そこで、職員配置はどのようになされているか聞きたい。

また、平成17年度の予算総額に占める人件費の割合及び職員一人当たりの市民数は、

多摩26市の中ではどうか。総務部長 職員配置については、事務事業の内容と職員数のバランスを考慮し、適正化に努めている。

予算総額に占める人件費の割合は、17年度が18・4％である。

また、16年度の職員一人当たりの市民の数は168・3人で、これは、多摩地域で第2位の数字である。

水と緑のネットワーク事業  
散策マップの発行時期は

委員 水と緑のネットワーク事業の啓発事業として、散策マップを3000部発行するのと、その内容と発行時期を聞き

べく早い時期に発行したい。返還後の計画では、団体や家族が楽しめるように、レストランや地元特産物の販売所の設置等を含め、更に検討を進め、実施計画を策定しながら、内容を詰めていきたい。



▲水と緑のネットワークの拠点(健康センター周辺)

また、都立府中青年の家は、市に返還とのことだが、現時点での計画は、緑のまちづくり推進課長補佐 平成15年度から、緑の活動推進委員会とともに、ウォーキングコースを策定し、概要がまとまったので、なる

美術館

絵画等の購入方法は

委員 平成17年度の実術品購入費として5000万円が計上されている。

美術品の購入は、単年度で考えるのではなく、ある程度金額を積み立てて購入すべきと考える。

そこで、現在の美術品の購

入方法を聞きたい。

美術館副館長 美術品の購入は、日頃から学芸員が作品の情報収集等の研究を重ねており、十分に調査したものを収集選定委員会に諮り、審議している。

限られた予算の中で、十分調査をして判断している状況なので、今後、高額な作品の購入を検討する場合は、議会とも相談し対応していきたい。

ホームレス自立支援事業  
その内容は

委員 平成17年度の新規事業に、ホームレス自立支援事業がある。これは、ホームレスの自立を支援するため、相談所を設置し巡回相談等を行うとあるが、その内容について聞きたい。

生活支援課長 ホームレスの自立支援は、日本社会福祉士会に委託し実施する予定で、相談所は夏季期間を除き、健康センタープールの券売所を利用する予定である。

また、巡回相談の内容は、ホームレスたちが生活している場所に出向き、健康状態や就労に関する相談等を行い、自立に向けた手助けをしたいと考えている。

ダストボックスの維持費

増額の理由は

委員 ダストボックスの維持管理費が、前年度対比で、1000万円を超える費用が平成17年度に計上されている。

市が、ダストボックス収集方式を維持しているという理由は理解しているが、増額の理由を聞きたい。

清掃課長補佐 ダストボックスの耐用年数は、およそ10年と考えている。17年度は、約1400個が買換えの対象となるが、この内400個を買換えでなく修繕で対応したいと考えている。

この修繕経費が、維持管理費の増加分であるが、修繕することにより、購入するよりも約1300万円の削減となる。

総括

投資的経費の上限

委員 本市の強みとしては、「骨太財政」があげられるが、財政は生き物のため、くれぐれも慎重な対応が望まれる。そこで、平成17年度予算の投資的経費の金額と、予算総額に対する割合を聞きたい。

また、その割合は10％以内に抑えていくことが必要だと思うが、市の考えは。

財務部長 17年度の投資的経費の金額は65億5800万円、予算総額に対する割合は8・8％である。

経常収支比率90％以下を目標としているので、投資的経費は10％以内としたいが、小・中学校校舎の耐震化等もあり、将来的には多少増える可能性があると考えている。

健康ふちゅう21の内容

委員 市長は、平成17年度予算を「いきいき 安心 育み予算」と名付け、18年度以降に大きく進展する諸計画を熟成させる育みの年と位置付けている。

その大きな柱として、「健康ふちゅう21計画の推進」があるが、その事業内容について聞きたい。

福祉保健部長 同計画は、市民が自分の健康状態を知り、自分の健康について考え、自主的に健康づくりを実践するための指針となるものである。

現在、事業計画を策定中だが、事業の実施等、関係課と連携し、市民がより身近な場で、自主的に参加できる施策展開を図りたい。

保育所待機児童の解消

委員 平成17年度に、新たに子ども家庭部が設置された。このことは、将来をしっかりと視野に入れた、市民ニーズにも応える適切な態勢と思う。そのような中、保育所の定員増を望む市民の声も大きいが、ここ数年、市長が緊急第一課題と

してきた保育所待機児童解消の取組について聞きたい。

子育て支援本部長 14年度から19年度の間に、保育所の定員を600人増加させることを目標に取り組んでおり、16年度当初までには179名の増員を行ってきた。

また、16年度に私立保育園の分園1か所を開設し、17年度当初の定員は24名増員となっている。

個人情報保護

委員 平成17年4月から個人情報保護法が全面施行される。

本市では、15年に個人情報の保護に関する条例がすでに施行されているが、指定管理者制度導入に向け、同条例の改正が必要と思うがどうか。

総務部長 指定管理者制度の導入に伴い、指定管理者が個人情報の適正な管理について、必要な措置をとることや、従事者が個人情報漏らしてはならないことなど、規定の改正が必要と考えている。

改正の時期については、17年第3回定例会までの提案を予定している。

観光行政の成果

委員 平成17年度の予算編成では、教育・環境・観光を市政の重要課題と位置付けている。

しかし、本市における観光については、市政の柱になるような施策なのかと思う。

そこで、市は観光行政にどのような成果を求めているのか。

生活文化部長 観光行政の成果として求めるものは、大きく2つありと考えている。

一つは、市民に身近な場所でありしみと安らぎを感じてもらうこと。もう一つは、年間を通じて多くの人に訪れてもらい、まちの活性化に寄与することであると考えている。

平成17年度各会計別予算内訳

| 区分     | 平成17年度        | 平成16年度        | 伸率(%) |
|--------|---------------|---------------|-------|
| 一般会計   | 743億6000万円    | 827億6000万円    | △10.1 |
| 特別会計   |               |               |       |
| 国民健康保険 | 176億617万5千円   | 163億357万9千円   | 8.0   |
| 老人保健医療 | 130億7681万3千円  | 130億5547万6千円  | 0.2   |
| 介護保険   | 90億3427万円     | 83億5222万2千円   | 8.2   |
| 競走事業   | 863億6897万2千円  | 696億514万9千円   | 24.1  |
| 公共用地   | 13億6474万円     | 25億4901万5千円   | △46.5 |
| 下水道事業  | 45億5289万5千円   | 43億1502万1千円   | 5.5   |
| 受託水道事業 | 19億8960万円     | 24億4490万円     | △18.6 |
| 火災共済事業 | 996万9千円       | 1023万3千円      | △2.6  |
| 計      | 1340億343万4千円  | 1166億3559万5千円 | 14.9  |
| 合計     | 2083億6343万4千円 | 1993億9559万5千円 | 4.5   |

平成17年度一般会計予算款(科目)別内訳

